

伊丹市議会議員 **おおつる 求** の活動報告

# みんなちがって、 みんないい



来年から始まる「新型コロナ特例貸付」の返済

## 返済が困難な方を、適切な支援に繋げていくために

市は対象者の生活実態を調査へ

新型コロナ感染拡大の影響で、休業や収入減など生活が厳しい世帯へ、国が貸付してきた生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）。その償還（返済）が来年1月から始まる。

一定の条件に当てはまれば「一括免除」になるが、条件に該当せず、かつ償還が困難な方が相当数おられると予想される。コロナ禍が続く中で、厳しい生活実態の方にどう寄り添っていくのか、大きな課題だ。

市内の特例貸付利用者は約2,300名。

ほとんどの方が、支援機関の継続的支援に繋がっていない

市内で「特例貸付」を利用された方は約2,300人。40～50代の単身者が多く、ほとんどの方が支援機関の継続的支援に繋がっていない。

償還時期が近づく今、必要な方が行政機関窓口への相談や支援を受ける機会にするため、市は対象者へアンケートで「生活実態調査」をおこなう。

積極的な相談がなくても、家族構成や収入の状況から困窮度合いが高いと思われる方へ、市や社協から連絡を取り適切な支援に繋げていく。

コロナ禍で40～50代の「生活困窮リスク」が浮き彫りに



働き盛りと言われる年代が、社会的に孤立し、生活困窮リスクを抱えていると従来から認識されつつあったが、その実態がコロナ禍で浮き彫りになった。自己責任論が蔓延する社会でもあり、単身世帯への施策は後回しにされがちな傾向にある。

コロナ禍が収束したら、また見えづらくなる問題。「生活実態調査」を機会に、必要な方が適切な支援に繋がるよう、丁寧な対応を要望した。

### 償還免除の条件

償還（返済）前年度、又は初年度の住民税が非課税世帯の方。

単身で給与所得者の場合、年収100万円以下が目安となる。

### 貸付利用者の傾向

2020年度末時点

40～50代が約5割。

単身世帯が約4割弱。

業種でみると、  
運輸業、建設業、  
サービス業、飲食業、  
製造業、販売業の順。

## 6月議会 アレコレ

物価高騰に対応する「臨時交付金」の使い方も審議された6月議会。身近な話題をピックアップ。

お伝えしたい  
色々なこと



すわってだまっていたべよう



## 給食食材費と、上下水道料金の負担軽減

小中学校や保育所・認定こども園等では、急激な物価高騰に対し、食材変更などでしのいでいるが、今後は厳しい対応が予想される。保護者負担に転嫁することなく「給食の質と量」を確保するため、市は今年度の食材費増加分を支援する。

また市民・事業者対象に、水道料金及び下水道使用料の基本料金・基本使用料1期・2か月分(8月・9月徴収分)を減免し、公共料金等の負担軽減を図る。

## GREENJAM'22 池田市で開催へ

2014年から昆陽池公園で開催されてきた「ITAMIGREENJAM」。2019年には2日間で約3万人の来場があり、関西最大級の無料野外音楽フェスとして定着していた。

今年3月下旬から、主催者と市は協議を続けてきたが、コロナ禍における市民の安心・安全の観点で折り合いがつかなかった、という。

今年は池田市猪名川河川敷に場所を移し、「GREENJAM'22」として9月18・19日に開催される。



## 統合新病院 2025年度中の開院を目指して



新病院を上空から見た図  
市作成イメージ動画より

統合新病院建設工事が止まっている。

昨年10月に概算工事費の積算をしたが、今年に入ってから建築資材費等の高騰による工事費上昇により、値段が合わず入札は不調に。

市が建築資材単価等を現状で再計算したところ、概算工事費は当初見込みから約80億円増の386億円になった。2025年度中の開院を目指し、早急に再入札をおこなう。

仮に事業者が決まっても、鉄骨の納期延長などにより工期が大幅に延びる可能性もあり、思惑通りに進むかは不透明だ。

なお、近畿中央病院は新病院開院までは診療を続ける、という。

## 市内事業者への支援策



市内事業者の経営環境について、様々な制度活用や経営努力により「持ちこたえている」と判断している市は、国の交付金を活用した事業者支援にのりだす。

市内中小事業者の事業力向上のため、小規模な投資等にも活用できる「設備等導入補助金」や、様々な業種の事業者が参加できる消費喚起策「事業者応援お楽しみギフト事業」などが行われる予定。

### 「いたみバスナビ」始まる

コロナ禍で乗客が激減したため、臨時的に運行本数の1割を減便している市営バス。直近では乗客数が緩やかな回復傾向にあるものの、テレワークなど新しい生活様式の定着により、コロナ前の水準には戻らない。

そんな中、スマホでバス接近情報や混雑状況がわかる「いたみバスナビ」が始まった。今後は系統毎の利用者データを分析し、効率的・効果的なダイヤ編成につなげていく、という。



### シティホテル閉館。市はホテル事業存続へ動く



伊丹シティホテル(株)は、6月の株主総会で、来年3月末でホテル営業を終了すると決定した。1987年に地元企業57社と市が出資し、宿泊・婚礼・宴会・飲食のフルスペックホテルとして「伊丹第一ホテル」は開業。2001年に「伊丹シティホテル」と名称変更し、現在に至る。

5千株保有する市は、市長が社外監査役として、年数回、経営状況の報告を受けていた、という。

昨年、館内一括空調の配管から水漏れしたため、事業再構築も視野に入れた調査をコンサル会社に依頼したところ、配管等の老朽化に加え、宿泊設備の総入れ替えなど改修費用20~30億円必要、と判明した。

また大阪市内のホテル建設ラッシュや、コロナ禍によるオンライン会議の普及・定着等の社会状況も鑑み、「改修投資額の回収に相当な期間を要するため慎重な検討がある」と結論付けた。

市は「ホテル閉館は市内経済界に与える影響は大きい」との観点から、事業継続へ向け、ホテル運営事業者を探している。事業者から具体的な要望があった場合、支援の在り方も検討する。

1987年	オープン
1989年	増資(12.5億)
1990年	北館オープン
1999年	チャペル設置
2002年	FC契約解消
2005年	減損会計適用
2006年	北館撤退
2017年	減資で経費削減
2019年	クラヴィエ閉店
2022年	閉館決定

フォト・ダイアリー ～日常の一コマ～



[写真説明 左上から時計回り]

- 平和を求めるスタンディング行動。
- LIA労組が市担当課へ申入れ。
- 第93回中之島メーデーに参加。
- みなみ親父クラブで出店した「こらくる こどもまつり」にて。
- 全力で闘った猛暑の参議院選挙。



中央公民館跡地で建設工事が進む「いたみ総合保健センター」。保健センター、休日応急診療所、口腔保健センターが統合する。新庁舎同様、11月完成を目指す。

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

大津留 もとむ  
伊丹市議会議員 **おおつる 求**  
090-8122-7114 <http://ootsuru.com>



【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。  
 ■近畿大学法学部法律学科卒 ■国際交流NPOスタッフとして「地球一周の船旅」参加 ■中川智子衆議院議員(前宝塚市長)秘書 ■建設従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局 ■2015年の市議選に社民党公認で当選。2019年に再選、2期目 ■会派「フォーラム伊丹」 ■稲野自治会役員 ■防災士

日々雑感

- コロナ禍、ウクライナ危機、物価高、円安、そして豪雨災害。大変な夏休み。
- 東電株主代表訴訟、東電旧経営陣に13兆円賠償命令。東京地裁「安全意識や責任感が根本的に欠如していた」。
- その翌日、最大9基の原発再稼働方針を示す首相。誰の言葉を「聞く力」か。
- 猛暑の消耗戦。参議院選挙、命懸け。
- 「国会で質問が出て、政府の閣議決定があつて、教科書の内容を変えるのは政治介入ですよ、ね、露骨な。」現実の恐ろしさを感じた映画「教育と愛国」。
- どのスーパーもウナギの蒲焼だらけ。今日が「土用の丑の日」と広告で知る。
- 前日に「稲野納涼夏祭り」中止を決断。コロナに振り回される日々続く。
- 8月6日、広島平和記念式典。「地球全体を破滅へ追いやる手段を手放しておくことこそが、現実を直視した上で求められる知恵と行動」と県知事。
- 早朝、鳴き声が大きいな、とベランダを見たら、ゴーヤのツルにセミ発見。